

■2 建学の精神の普及・醸成に関する事項

本学の建学の精神は「浄土真宗の精神」である。浄土真宗の教義は、親鸞聖人によって組織化・体系化されたものであり、その意味で「浄土真宗の精神」を「親鸞聖人の精神」と言い換えることができる。

浄土真宗は仏教の中に位置づけられるが、仏教に限らず、宗教とは自己の実存と関わり、また自己は如何に生きるべきかという根源的な問題に関わるものである。その中で、仏教は「正しくものごとを見る」ことを教える。「正しくものごとを見る」ということは、「如実知見」といわれるように、「ありのままのすがたをありのままに見る」ということである。自己の価値観に偏執し、誤ったものの見方しかできない我々にとって、なにものにもとらわれない自由なものの見方の存在を知ることが、自我の肥大化の防止に一定の役割を果たす。

近時、宗教の社会貢献の問題が議論されているが、宗教の存在意義の一つに、多様な価値観の提供がある。すなわち、自己の価値観と異なった価値観の存在を知ることが、自己の価値観に対する偏執をやわらげ、多文化の共存に対する認識を深める。また、宗教が個人の精神の安定に多大の寄与を行うことは広く知られている。

このような宗教の意義に鑑み、建学の精神の普及・醸成をはかることの教育的意義は大きいといわなければならない。そして、その醸成は、知的な側面のみならず、情動的な側面においても必要である。このような観点から、宗教部は、以下の事業を行う。

＜必修科目「仏教の思想」からの展開＞

「仏教の思想」担当者と宗教部の活動との連携を密にすることにより、全学生に対する建学の精神のさらなる普及を目指す。具体的には、宗教部発行冊子『建学の精神』を仏教の思想のサブテキストとして2010年度も使用し、統一した内容で龍谷大学の建学の精神の普及を展開していく。

＜法要・宗教教育行事の取り組み＞

建学の精神の理解を促すという教育的意義を含め、次のような法要・宗教行事を学年暦に定めて実施する。さらに、2010年度から大宮学舎において毎月1回水曜4講時に「顕真アワー」と称する宗教教育行事（勤行・法話）の時間を設ける。

- ・朝の勤行（学長法話、伝道部法話を含む）
- ・月例法要（お逮夜法要、ご命日法要、ご生誕法要）
- ・降誕会（5月21日）
- ・報恩講（10月18日）

- ・成人のつどい（1月8日）
- ・新入生本願寺参拝（4月5～6日）

＜宗教講演会の開催＞

礼拝堂等において行われる学内外の著名人による講演会を通じ、地域の方々も含めて龍谷大学の建学の精神を普及するよう努める。

- ・顕真館公開講座
- ・宗教文化講演会
- ・教職員のための宗教部特別講座

＜文書伝道の取り組み＞

法要・宗教行事等で行われる法話や講演、教職員・学生によるエッセイや心に響く言葉などを活字にし、龍谷大学の建学の精神と教学理念を広く学内外に普及させる。また、2010年度から、図書館学術リポジトリと協力して『りゅうこくブックス』を電子情報として参照できるようにする。

- ・りゅうこくブックス
- ・宗教部報りゅうこく
- ・龍谷大学「建学の精神」／宗教部ガイド
- ・宗教部カレンダー
- ・標語ポスター

＜礼拝施設の整備＞

本学は3キャンパスを擁し、各々連携しつつ独自の教学を展開しているが、建学の精神を施設の面においても体现すべく、それぞれに礼拝堂が設置されている。この施設は常時開放されており、誰でも自由に入って宗教的雰囲気を感じられるようにしている。

- ・本館（国指定重要文化財）……………大宮キャンパス
- ・顕真館……………深草キャンパス
- ・樹心館……………瀬田キャンパス

＜その他＞

学友会宗教局6サークル、親和会、校友会等を通じて、在学生・卒業生さらに地域社会に龍谷大学の建学の精神の理解を深められるような活動を行う。

- ・顕真週間
- ・降誕会
- ・仏教活動奨学生（懸賞論文）の募集
- ・結婚式（三学舎の礼拝堂にて校友を中心に実施）
- ・物故者追悼法要
- ・花まつり